

尚友会だより

第5号

尚美学園大学尚友会会報第5号

【発行日】令和元年 7月1日

【発行者】尚美学園大学尚友会

〒350-1110

埼玉県川越市豊田町 1-1-1

時代と共に変化する尚美学園大学

— 昭和、平成そして令和へ —

尚友会 会長 高埜 雅之

尚美学園大学の前身である尚美音楽短期大学の開学は昭和56年です。私の学生時代はすべて昭和の時代でした。そして、平成の時代になると大学が大きく変化していきます。大学も短期大学から4年生大学へ改組し、川越キャンパスが建設され総合政策学部が誕生。



尚美祭にて、
役員と漫画研究会の学生

平成25年に上福岡キャンパスは川越キャンパスに移転・統合されました。さらに、平成27年には音楽応用学科、舞台表現学科が開設されるなど、大学は目まぐるしく形を変えていきます。その他、サークル活動として女子硬式野球部や女子チアダンス部が全国や世

界レベルで活躍するなど、昭和の頃には想像も出来なかった大学の姿になりました。令和2年にスポーツマネジメント学部の新設も予定され、新しい時代を見据えた教育が展開されていきます。

最近、昭和時代の卒業生と再会した折に「伝統的な学問が無くなつて大丈夫なのか」という疑問を聞きました。確かに、音楽短大で学んだ母校の面影からは離れすぎているのかもしれません。しかし、よく思い出してみれば、短大の開学当時、音響を勉強する音楽情報学科は音大として斬新であり、その後、音楽ビジネス学科を立ち上げたのも画期的な事であると記憶しています。

尚美学園大学の開学の指針「勇気・創造」は、勇気をもって新しい分野に果敢に取り組み新しい分野を創造し勇気をもって表現できる人材を育成する事と明記しています。そのような精神は脈々と受け継がれているわけでそれが尚美の強みになっているわけです。

さて、本年も尚美祭の折に尚友会総会が行われます。新しい大学の姿をぜひご覧になってください。

Topic 1

“第5回定期総会＆ホームカミングデー”のご案内

「尚友会」は、尚美学園大学・大学院在学生、同卒業生・修了生、及び尚美学園短期大学卒業生並びに現教職員・旧教職員で組織されています。総会は、尚友会の最高議決機関であり、「尚友会」の事業報告および事業計画、予算などについて審議されます。総会後には、軽食を供する懇親会も予定しておりますので、万障お繕り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時：2019年10月27日(日) 13:00 開会
会 場：尚美学園大学 本部棟1階 ラウンジ
内 容：【第1部】総会 【第2部】懇親会

※スクールバスのご利用は、尚美祭
スクールバスダイヤをご参照ください。
[大学ホームページ>交通アクセス>
バス時刻表>尚美祭ダイヤ]



尚、総会当日と前日は「尚美祭」も開催しております。

尚友会は『下松原 思い出横丁』として
尚美祭(10/26～27)に出店いたします。

<会長よりメッセージ>

川越市下松原は、かつて上福岡キャンパスのあった思い出の地です。(残念ながら現在は住宅地になってしましました)

当日は、短大時代から現在までの卒業アルバム、思い出の写真や品々を展示し、飲み物やお菓子なども用意していますのでお仲間・ご家族お誘い合わせの上、お気軽にお越しください。



お問い合わせ先：尚美学園大学 学生課「尚友会担当」TEL：049-246-2127

昨年の出店の様子

Topic 2

会員通信 ~会員の方からの声をお届けするコーナー~



テーマ「尚美といえば○○○」について語っていただきました！



教員



尚美といえば「スタジオ施設」

卒業生の皆さんには、出身学科や専攻によって学内で多くの時を過ごした思い出の場所があると思います。短大の音楽情報学科や4年制の情報表現学科で音響や映像を学ばれた方たちは、スタジオを思い浮かべるのではないかでしょうか。私も30年間、ほとんどの授業を映像スタジオや編集室そして録音スタジオで行って来たので、尚美といえばと聞かれて思いつく

のはスタジオ施設のことです。スタジオは、現在も1学年で150名前後の学生が授業やサークル活動で使用しており、以前より増えることはあっても減ることはなく、多くの学生の学びの場として利用されています。

時代と共に機材も変わりましたが、最も大きな変更は、やはり2013年のキャンパス移転です。多くの卒業生にとっての思い出の場所が失われたことで、残念に思われている方も多いでしょう。そのような思いをもっている方たちに現在のキャンパスのスタジオ施設の秘密をお教えします。

移転の際、各スタジオと周辺の部屋は減らしたり増やしたりすることなく、そのまま同じ大きさで設置することになりました。建物は変わってしまいましたが全ての部屋が今も新しい形で残っているということになります。例えば、平成元年頃に森田先生が半田付けを教えていた工作室はその後VHSの編集室になりキャンパス移転前後からパソコンを使った編集室になっています。エントランスホールもあります。このように皆さんが学んだ場所は今も存在していて、当時にさかのぼることができます。ご案内しますので、是非川越キャンパスにお越しください。

在学生



尚美といえば交流の場

平成31年度学友会議長を務めています、芸術情報学部 音楽応用学科3年の河野雄太です。

私は2年生に進級してから軟式野球サークルに所属しました。きっかけは学友会に所属後すぐに、ライフマネジメント学科の先輩から誘われたことです。授業では音楽ビジネスなどを中

心に学び、放課後はサークル活動に取り組んでいます。学部の友達やサークルの仲間たちと充実した学生生活を送っています。

本学には情報、芸術、社会科学、スポーツなど、様々なジャンルを学ぶ学生、そして多くの留学生が在籍し、学生同士の交流が盛んに行われています。私たち学友会は、更に学生同士が学部・学科、国籍を越えた豊かな交流ができる場を設けられるように活動していくと考えています。またキャンパスの所在地である「川越」は歴史のある街です。学生の活力を学内だけにとどめるのではなく、地域へ発信し、地域の活性化を図ると共に地域の方々との交流を大切にしていき、ボランティア活動など多くの学生が参加できる環境作りにも励んでいきたいと考えています。

学友会は、学内外の幅広い人々との多彩な交流を大切にし、大学をよりよくするために日々活動しています。

卒業生



<尚美といえば・・・つながり>

上福岡の赤レンガキャンパスは音楽で溢っていました。レッスン室の前からはビブラートのかかった歌声、外のベンチではパソコンで音楽を作っている人、ギターを弾いている人…様々な音楽が毎日自然と耳に入っていました。1号館のエントランスホールでは毎日誰かが発表の場として利用していました。

同級生や先輩に恵まれ、門下生でクラリネットアンサンブルをエントランスホールで開催しました。それだけでは留まらず、一般的のホールを借りて演奏会をしたことは今でも良い思い出として心に残っています。当時、インターンシップのことを相談していた先生のつながりで音楽ビジネスコースの学生にも演奏会のお手伝いしてもらいました。

卒業してからは学童指導員として授業が終わった後、放課後の子どもたちを支援する仕事をしています。楽しいことだけでなく大変なことも沢山ありますが、子どもたちの今しかない貴重な時間に関わっていることに責任とやりがいを感じます。

休日は大学時代に習っていた木村健雄先生と当時の門下生でクラリネットアンサンブル団体を作り、演奏会を1年に1回開催しています。木村先生のつながりで他の場所で習っていた人もメンバーにいます。卒業してからもクラリネットを続けられる環境があること、一緒に演奏する仲間がいることに大変ありがたく感じています。

これからもつながりを大切にし、仕事に励み、音楽を楽しんでいきたいと思います。

Topic 3

尚友会ホームページ開設！

この度、尚友会ホームページを開設しました。

このホームページは、会員、および母校の各種情報をインターネット上に発信することにより、尚友会の目的「建学の精神である「智と愛」を継承し、会員相互の親睦向上を図るとともに、尚美学園大学の教育振興を支援し、もってその発展に寄与する」を果たし、会員相互の情報交換を行うことを目的としています。

今後、このホームページを活用し、多くの卒業生に尚友会の近況報告や、情報の発信を行い、ますます尚友会が身近なものとなるよう努力してまいります。

会員同士の交流を深めるためにぜひ活用していただければと思います。

尚友会役員よりメッセージ

- 皆さんともっとコミュニケーションしたい！
- 日本国内、いえ世界へ発信！
- 尚友会のホームページをはじめました。
- が、未完成！！皆さんと一緒に築きたい！
- 写真・広告・情報お待ちしています。

■ 尚友会ホームページ URL

<https://www.shobialumni.jp/>



QR コード

お問い合わせ

e-mail : info@shobialumni.jp

尚友会

尚美学園大学・尚美学園短期大学 校友会



尚友会は2014年10月に尚美学園大学校名を「尚友会」として改定しました。2016年9月に尚美学園大学と改名と改称しました。尚美学園音楽短期大学・尚美学園短期大学の卒業生および尚美学園大学・尚美学園短期大学の各講師・在学生、教職員（OB/G会員）を中心とした、尚友会のコミュニケーションや連携活動を推進し、大学の発展を図って支援を行うことを目的とした団体です。

尚友会事業詳細について

助成事業報告

地域支部について

お知らせ

2019/03/28 尚友会ホームページを公開いたしました

ニュースを見る

Topic 4 第3回 教育シンポジウム開催報告

今回で3回を数える「教職シンポジウム」が、平成30年11月9日に開催されました。パネリスト、ファシリテーターは北海道、埼玉、東京の各地で教職にある短期大学の卒業生です。

今回のテーマは「現職教師（卒業生）が何でもお答えします！」で、多くの現役学生が参加しました。

冒頭、川島 真教授（教職・資格課程センター長）より挨拶と情報提供がありました。それは埼玉県教育委員会から示された、教員採用試験に関する統計でした。この日届いたばかりという最新のデータは、尚美学園大学（短期大学）の現役生・卒業生の受験者数や一次・二次試験の合否者数など、私が埼玉県を受験していた頃には知ることができなかった内容でした。教育委員会から地元大学、そして教職課程を履修する学生への熱い期待を感じさせるものであり、我々ファシリテーター、パネリストのモチベーションも高まりました。

今回のパネリストは教員、管理職（指導主事等行政職の経験あり）で構成され、テーマに寄り添ながら、それぞれの経験や現在の立場を踏まえて語りました。同一のテーマを様々な立場、視点から捉え、方向性を見いだしていく。私が学生時代に衝撃を受け、「もう一度受けたい授業のひとつ」と今も同期の間での語り草となっている、「音楽と現代社会（短期大学音楽学科が全員受講）」に重なるものがありました。

学生からの質問に對話を深めていく場面もあったことで、より有意義なひとときとなりました。終了後の学生から『教員を目指すに当たって、同じ大学の先輩から直接教師の仕事の話を聞くことが嬉しい』や『現役教師の先輩と繋がりがつくれることがとてもありがたい』、『管理職の役割なども伺えて将来の参考になった』などの感想があり、今後に生かしていきたいと考えます。

次回は小グループに分かれ、より学生の声を聴いてみたい、と確かな手応えを感じた今回の教育シンポジウムでした。

井戸 正利（短大14期 尚友会監査）

テーマ「現職教師（卒業生）が何でもお答えします！」



<ファシリテーター>

小山内 仁（北海道 八雲町立野田生中学校 校長、尚友会副会長）

<パネリスト>

富山 和幸（埼玉県 川越市立高階北小学校 教頭、尚友会監査）

岩崎 英雄（埼玉県 朝霞市立朝霞第一中学校 教頭）

井戸 正利（東京都 板橋区立北前野小学校 主任教諭、尚友会監査）

*敬称略 ※（ ）内の肩書は開催当時のものです



Topic 5

2020年4月新学部「スポーツマネジメント学部」誕生！

※ 2020年4月開設予定（構想中）

～スポーツを学び、スポーツと共に歩みたいすべての人へ～



尚美学園大学は、現在の総合政策学部ライフマネジメント学部スポーツコースの内容をより進化させた、「スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科」の開設を予定しています。

長年にわたるスポーツ分野の専門教育を基に、芸術情報学部や総合政策学部といった独自性も融合させる学部とすることで、さまざまな視点からスポーツを学べるステージを用意します。



＜スポーツマネジメント学部の特長＞

■スポーツの枠組みを超えた多様性のある学習

スポーツをあらゆる視点から学び、これまでのスポーツの枠組みを超えた多様性のある学習が可能です。異分野と連携・協働しながらスキルを身につけ、スポーツの新しい価値を創造できる人材を養成します。

■将来の仕事に直結した学びのテーマ

社会に出てから即戦力として活躍できるスキルを得るために、「ビジネス系」「コーチング系」「クリエイティブ系」など、仕事に直結した学びのテーマを用意します。

- | | | |
|--------------|--------------------|---------------|
| ▶スポーツ × ビジネス | ▶スポーツ × マーケティング | ▶スポーツ × データ分析 |
| ▶スポーツ × イベント | ▶スポーツ × エンターテインメント | ▶スポーツ × 教育・指導 |

●詳細は、新学部特設サイトをご覧ください。<https://www.shobi-u.ac.jp/special/newfaculty2020/sports/>
(設置計画は、現在設置構想中であり予定であるので、今後内容に変更があり得ます)

Topic 6

維持会費納入の御礼とお願い

平成30年度の維持会費納入にご協力いただきまして、ありがとうございました！

お陰様で、平成31年3月末現在【合計59口、115,590円】（口座徴収料金除く）が集まりました。引き続き、平成31年度もよろしくお願いいたします。

尚友会の事業は、入学時に納入していただく「終身会費」と卒業生や教職員の皆様から任意で納入していただく「維持会費」により運営されます。この維持会費の拡充により、現役学生への支援も手厚いものとなります。尚友会の掲げる『建学の精神である「智と愛」を継承し、会員相互の親睦向上を図るとともに、尚美学園大学の教育振興を支援し、もってその発展に寄与する』という目的をご理解いただき、ぜひ維持会費の納入にご協力をお願い申し上げます。

■お預かりした会費の使途である「尚友会事業」は以下の通りです。

【校友会事業】

- ①定期総会「ホームカミングデー」の開催
- ②会報「尚友会だより」の発行
- ③学園祭への参加と後援会や学生との交流
- ④大学・各学部・学科主催行事への積極参加
- ⑤役員会等の運営

【助成事業】

- ①教育振興助成<教職資格課程支援やキャリア就職支援プログラムなど>
- ②学友会活動への助成<卒業生記念品事業など>
- ③尚美祭への助成<広告協賛など>

■令和元年度「維持会費」（年会費）の納入について

1. 維持会費は、一口：2,000円です。
2. 維持会費は、年会費として会計年度（4/1～翌年3/31）毎に収納いたします。
3. 納入方法は、郵便局（ゆうちょ銀行）からの払込みをお願いいたします。

*同封の「払込取扱票」に送金額を添えて払込みください。（手数料は不要です）

*ゆうちょ銀行のATM（払込み機能のあるものに限ります）でもご利用いただけます。

*払込み「金額」の記入に加え、通信欄に「住所・氏名」及び卒業生は「学籍番号・学科名」、旧教職員は勤務時の「所属部署」を明記してください。

*現教職員の皆様には、別途学内でご案内いたします。

編 集 後 記

2019年5月1日、「平成」が終わり新元号「令和」がスタート。新時代の幕が上がりました。皆さんは時代の節目をどう過ごされましたか。（個人的には、菅官房長官より新元号「令和」が発表される瞬間、新元号が「尚美」になつたらどうしよう～♪と密かにドキドキしておりました）

「令和」は、万葉集「梅花の歌」より引用され、「日本の四季折々の文化を、次の世代に引き継ぐ」という思いが込められているそうです。

キャンパス内に梅の花はありませんが（多分）、たんぽぽ、桜、花水木、つづじ、紫陽花、くちなみ、ムクゲ、百日紅、金木犀、山茶花・・・美しい花々が季節の到来を告げ、キャンパスを華やかに演出してくれます。四季折々の美しいキャンパスにいつでも遊びにいらしてください★

【尚友会連絡先】

〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1

尚美学園大学 尚友会担当：049-246-2127（学生課直通）

E-mail : gakusei-ml@s.shobi-u.ac.jp

会員の皆様へ

尚友会に対するご意見・ご要望をお寄せください。卒業生の皆様は住所等連絡先の届出や変更などの情報もお寄せください。

Topic 7

第4回定期総会報告

●平成29年度事業報告

【尚友会事業】

①第3回定期総会開催 [平成29年10月21日(土)] (参加者数:30名)

②役員会開催 [第1回:平成29年5/13(土)、第2回:7/8(土)、第3回:9/2(土)、第4回:11/25(土)、第5回:平成30年1/13(土)]

③広報活動事業

会報「尚友会だより」第3号発行:7月(発行部数:16,000部)

配布部数:卒業生12,150部(短大5,243部、大学6,907部)、在学生約2,000、教職員約200

尚美祭への助成:パンフレット及びスクールバス車内広告協賛

④大学・各学部・学科主催行事への参加

平成29年度入学式、学位授与式、情報表現学科卒業制作展、音楽表現学科定期演奏会、音楽表現学科卒業演奏会等に参加

⑤学園祭への参加 後援会並びに学生との交流

【助成事業】

①教育振興助成事業

平成29年11/16(木)・17(金) 就職セミナー「OB/OG講演会」開催

キャリア・就職課主催の就職セミナーの一環として、16日は3名、17日は4名の卒業生がパネリストとなり、3年生を対象にパネルディスカッションを開催
[参加者数:合計7名]

教職課程支援として11/17(金)3名の現役教職の卒業生がシンポジストとなり、テーマ「教職を目指す学生に何が求められているのか?」についてシンポジウムを開催
[参加者数:合計29名]

②学友会活動助成事業

29年度学友会予算へ助成金拠出(卒業記念品事業等)

③助成金交付事業

卒業生が企画・運営・演奏するコンサートに助成 [助成数:2件]

「6thオータムコンサート」(宮城県内)、「'94、「95合同同窓会」(東京都文京区)

④支部活動助成事業

「支部立ち上げ準備会」開催(東北:7/16(日)、沖縄:8/26(土))

「支部立ち上げ合同交流会」開催(旭川:平成30年1/20(土)、札幌:2/10(土))

●平成30年度役員

名 誉 会 長	久保 公人 (尚美学園大学学長)	理 事	白石 英二 (大学1期生)	(新)	理 事	石川奈津希 (大学15期生)
会 長	高埜 雅之 (短大1期生)	理 事	松田 有司 (大学1期生)	(新)	理 事	原 汐音 (大学16期生)
副 会 長	小山内 仁 (短大6期生)	理 事	市川雄一郎 (大学2期生)	監 察	富山 和幸 (短大6期生)	
副 会 長	高麗 秀純 (短大8期生)	理 事	山下 友子 (短大18期生)	監 察	井戸 正利 (短大14期生)	
理 事 (会 計)	高井 康子 (短大8期生)	理 事	安田 聖海 (大学14期生)	幹 事 長	柴崎 義之 (尚美学園大学事務局長)	

●平成30年度事業計画

【尚友会事業】

①第4回定期総会開催 平成30年10月28日(日)

②役員会開催 年5回開催(5月、7月、9月、11月、1月) 必要に応じて、三役会、事業担当者会議開催

③広報活動事業

会報「尚友会だより」第4号発行:7月1日(発行部数:16,000部)

尚美祭への協賛:パンフレット及びスクールバス車内広告協賛

尚友会ホームページ

④大学・各学部・各学科主催行事および後援会行事への積極参加

⑤学園祭への参加 後援会並びに学生との交流等

⑥教育振興助成事業

キャリア就職支援として、就職セミナー「OB/OG講演会」開催(11月開催予定)

教職課程支援として、「教育シンポジウム」開催(11月開催予定)

⑦教育活動・学生募集支援事業 教育活動や学生募集活動に関わる支援(教具等の購入、同窓生入学紹介制度謝礼等)

【助成事業】

①学友会活動助成事業 30年度学友会予算へ助成金拠出(卒業記念品事業等)

②助成金交付事業 会員が開催する親睦会・イベント・演奏会等の活動支援

③支部活動助成事業

「支部立ち上げ準備会」開催

(北海道:6月30日(土)、新潟:11月30日(金)、東京:平成31年1月12日(土))

「支部総会」(東北:7月8日(日))

●平成29年度決算・30年度予算

【収入の部】

科 目	29年度予算	決 算	30年度予算	備 考
会費	13,200,000	13,340,000	13,200,000	@20,000×660名
維持会費	300,000	85,320	100,000	@2,000×50名
寄付金	0	0	0	
その他	517	130	150	利息等
合 計	13,500,517	13,425,450	13,300,150	
前年度繰越金	8,263,483	8,263,483	16,307,020	現金・預金
総 計	21,764,000	21,688,933	29,607,170	

【支出の部】

科 目	29年度予算	決 算	30年度予算	備 考
本部費	1,330,000	1,116,722	1,640,000	消耗品費、旅費交通費、印刷製本通信費、他
事業費	3,000,000	2,274,203	6,400,000	総会運営費、会報発行費、広報活動費 他
助成費	4,400,000	1,990,988	4,000,000	教育支援助成、就職支援助成、学友会助成、他
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
周年記念事業	0	0	10,000,000	
総 計	9,730,000	5,381,913	23,040,000	

【収支の部】

科 目	29年度予算	決 算	30年度予算	
収 入	21,764,000	21,688,933	29,607,170	
支 出	9,730,000	5,381,913	23,040,000	
総 計	12,034,000	16,307,020	6,567,170	決算総計額=次年度繰越金

Topic 8

尚友会 助成金交付事業

会員が開催する“親睦会・イベント・演奏会etc.”を応援します!

「尚友会助成金交付規程」に基づいて、助成金の交付を行います。希望する会員は、事務局（大学学生課）まで、メールまたはお電話でお問い合わせの上、助成金交付申請書をご請求ください。

●交付対象

本会会員が主催または共催する次に掲げる事業

- (1) 本会正会員及び客員会員を対象とする会合、親睦会等の開催
- (2) 本会会員及び一般を対象とするイベント、演奏会等の開催
ただし、広く尚美学園大学及び本会のアピールを行うことを条件とします
- (3) その他、本会会員の知識・技術の向上を支援するもの

●申請手続

事業開催日の1ヶ月前までに、所定の「助成金交付申請書」に企画書や開催要項等を添付して提出してください。（同一の本会会員もしくは支部または団体等につき、年1回限り。先着順とし、当該年度の予算額に達した場合は募集を停止します。）

●事業報告

事業終了後2週間以内に、所定の「助成金使途報告書」に事業実施内容が分かる写真と配布資料等を添付して提出してください。（写真及び配布資料等は、ウェブサイト等に事業報告として掲載することができます。）

●助成金交付

事業報告に基づいて、役員会の議を経て会長が助成金交付金額を決定します。

（助成金交付金額は、別途定める基準によります。10,000円～100,000円）
ただし、後援・協賛等については、別途役員会で決定します。

●30年度の助成実績 ※それぞれ10,000円の助成を行いました。

『木村屋総本店 第2回演奏会』

平成30年5月25日

タワーホール船堀 小ホール（東京都江戸川区）
代表者 矢崎 真奈美
(大学 2014年3月卒業)



『Sound Particles』

第一回演奏会 音ノハジマリ』

平成30年8月18日

ニューヨークスタイルウェイ・ピアノサロン
Le Salon de Clavier（東京都北区）
代表者 今 めぐみ
(大学 2003年3月卒業)



『尚美学園大学サッカー部OB会』

平成30年12月8日

ビザウルスタスク（埼玉県川越市）
代表者 白石 英二
(大学 2004年3月卒業)

